



「豪雪JAM」は生まれたいんです。
 誇りに思っほしい。
 その思いから
 地元の若者に、
 十日町市を好きになっほしい。

雪国十日町だからこそ誕生した
 野外雪上フェスティバル。

十日町に生まれ育った親友がつぶやいた「十日町って田舎だし、いちだたね」という言がきっかけでした。自分の生まれ育ったまちに魅力を感じないなら何だか悔しくて悲しくて。2007年の年の暮れ頃でした。十日町雪まつりの会場で翌日空いているよなあ、野外フェスとかききたら面白いなあ、ふと思いついたんです。観光協会に行くと話をしたら「OK」ということだったので、あわてて仲間を集めて、各方面の先輩方に相談を持ちかけて……。後は勢いと若い情熱で2ヶ月という短期間で開催にこぎつけました。20人くらいのスタッフ

はみんな地元の仲間たち。当日は大雪で朝から雪かきやら出演者の移動の心配やらで大わらわでした。でも、出演者や観客のみなさんに「よかったよ」「真冬の野外フェスもいいね」「スタッフや会場の雰囲気よかった」と言ってもらえて、本当に始めてよかったと思えました。おしゃれでカッコよくて、全国に誇れるイベントを目指して。

2012年は、はや5回目。豪雪JAMのファンになってもらい、十日町を好きになってもらうために、いろんな面で進化していけたらいいなと思ひ、みんなで知恵を出し合っで毎年試行錯誤を重ねて、いま。4回目からは高校生ボランティア

アも加わり、音楽以外のパフォーマンスも登場しました。元祖野外雪上フェスとして認知度も高まり、リピーターも増えています。もちろん後援していただいている十日町雪まつり実行委員会や新潟県建設業協会十日町支部青年部をはじめ、各協賛企業や協力会社のみならず、感謝感謝です。

地元の若い人たちの手で、おしゃれでカッコよくて、周りに自慢できて全国に誇れるイベントを続けていくことで、地元をより好きになり十日町人としての誇りが生まれたいなど。毎日の生活が楽しくなくなり、仕事でもプライベートでも生活にハリが出て、その結果として地域活性化に繋げたい。これからもそんな熱い思いを持続していきたいですね。

“Gosetsu JAM” was created from a desire for young local people to like Tokamachi and take pride in their city.

Mr. Atsushi Higuma, a representative of the executive committee for midwinter outdoor music festival “Gosetsu JAM,” started the festival together with his friends as they set about adding to the charm of Tokamachi while developing seven stores in Tokyo and Tokamachi including orthopedic clinics and a cafes.

“Gosetsu JAM” was created on February 17, 2008. With a preparatory period of just two months, the project began while it was still under development by this group of young local staff with little to no experience of holding events. Nevertheless, difficulties were overcome and the first event was a success. The fifth festival will be held in 2012.

希望当地的年轻人能够喜欢十日町市，能够以十日町市为家。由此诞生了“豪雪JAM”。

樋熊篤史 (Atsushi Higuma) 作为严冬户外音乐节“豪雪JAM”的执行委员会代表。他在东京和十日町经营着7间整形外科诊所和咖啡店。在工作之余希望将十日町市建设成为更具魅力的城镇，就与朋友一起发起了“豪雪JAM”。

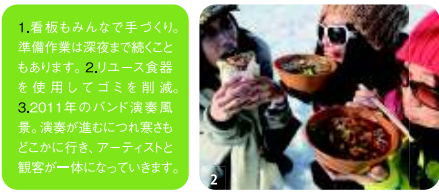
2008年2月17日，“豪雪JAM”诞生了。准备时间仅用了2个月，工作人员几乎都是没有活动经验的当地年轻人，完全在摸索中开始活动。付出的辛苦终于结出了硕果，第一次活动获得了成功，2012年将迎来第5次活动。

豪雪JAM

2008年2月17日、この年59回目を迎えた十日町雪まつりの城ヶ丘ピュアランド特設会場を使った、真冬の野外音楽フェスティバル「豪雪JAM」が誕生しました。準備期間わずか2ヶ月、スタッフはほとんど未経験の地元の若者たちという、まさに手探り状態のままスタート。苦勞の甲斐あり、初回を無事成功し、2012年は第5回目を迎えます。ふるさとへの熱い思いが実り、「元祖野外雪上フェス」「一年で最初のフェス」として、回を重ねるごとに地元でも全国でも知名度が上がってきています。

イベントの充実

十日町雪まつり、大地の芸術祭、松之山温泉のおこ投げ・すみ塗り、川西白倉の奇祭・バイトウ、越後まつだいの陣、雪原カーニバルなかさなど、地域資源を活かしたイベントや祭りは、地域活性化にも十日町市をPRする上にも重要な役割を担っています。今後も各地域のイベントや祭りの充実と連携を図るとともに、新たな取り組みへの支援や広報活動の充実に取り組んでいきます。



豪雪JAM実行委員会代表・樋熊篤史(あつし)さん profile

十日町市本町在住。東京と十日町市に接骨院やカフェを7店舗展開させるかたから、十日町市をもっと魅力的なまちにしようと仲間を集めて日夜奔走中。「豪雪JAMは回を重ねるごとに地元にも全国にも深く広く根がはってきている感じがします」とうれしそうに語ってくれました。

豪雪JAM実行委員会のみなさん (左から) 樋熊篤史さん・橋本雅弘さん・田中博史さん・(右後ろ) 真霜和彦さん